

2016年 **6**月 つるがしま里山サポートクラブ活動案内

平成 28 年 5 月 29 日(日)

小澤邦彦

新緑の中での森の作業は、まさに気分爽快になります。また、今年度より昼食を提供していますが、野外で取る食事は何を食べても美味しいことを実感します。気軽に参加し“楽しさ”を共有しませんか。

◇ 6月のクラブ実施内容は以下のとおりです。

◎ 「のんのんキャンドルナイト」への参加

☆ 活動日時 : 6月18日(土) 9時00分～15時 17時～21時

☆ 参加目的・意義

キャンドルナイトは夏至の日に電気を消し、ろうそくの光の下、省エネルギーや環境問題について考える催しとして2003年、日本から始まり今や世界規模に発展しているイベントです。日本では東京タワーの明かりが午後8時から10時まで消灯することで有名です。

日本各地でいろいろな取り組みがありますが、鶴ヶ島では五味ヶ谷市民の森と農業交流センター(のんのん)で開催されてきました。今年は、趣向を変え、のんのんのイベントに里山サポートとして参加協力することとします。

☆ 主催 : キャンドルナイト in 高倉実行委員会

☆ 共催 : 高倉ふるさとづくりの会

☆ 開催時間 : 18時30分～21時

☆ イベント : フラダンス、楽器演奏

☆ 当クラブの具体的実施事項・内容

<9時から15時>

- 五味ヶ谷市民の森、竹林整備の一環としてキャンドルを入れる竹筒を100本程度制作します。

※ 作業は高倉の皆さんも参加して実施します。

※ 高坂自然動物園にレスターパンダの餌となる孟宗竹の葉を提供します。

- 竹筒をのんのんに搬入する。

- ・ 集合場所 : 東市民センター隣接市民の森広場
- ・ 駐車場所 : 東市民センター駐車場
- ・ 昼食 : おにぎりを用意します。

<17時から21時>

- のんのんの前庭広場で焼き物販売します。(出店料:500円)

- ・ 集合場所 : のんのん前庭
- ・ 駐車場所 : のんのん駐車場

☆ 総括責任者 : 吉井

焼き物担当 : 石川

◎ もりのプレーパーク（高倉市民の森）

☆ 活動日時 : 6月26日(日) 9時00分～16時

※ 雨天の場合は中止します。

☆ 目的・意義

森の力を活用した体験型イベントを開催することで、参加者に森に親しんでもらい、森の良さを知ってもらう。自然本来の魅力を生かしたアトラクションを中心とし、こどもの創造性、自律忍耐力、危険予知能力などの潜在能力を引き出すとともに、森の魅力と必要性、森林整備の意義と活動について保護者や地域住民を含めた参加者に体験・認識してもらう。

☆ 主催 : つるがしま里山サポートクラブ

※ 今年度初めてのイベントとなり、多数のスタッフが必要となりますので多くの方の参加をお願いします。

※ セブン-イレブン助成金事業

☆ 具体的実施事項・内容

● ガサガサ : こども達が飯盛川に入り、川の生き物を採取する。

● 森の宝探し : こどもチーム+大人1人で指令カードにあるものを宝の地図を見ながら探し、採集する。(表彰あり)

● ハンモック・大ブランコ

● 竹細工、葉っぱdeアート、どんぐりアートなど : 色々なアート作品制作予定

● 模擬店 : バンブーパン、フランクフルト、竹筒ゼリーなど

☆ 集合場所 : 高倉の森内飯盛川沿いのおかねが井戸近くの広場

☆ 駐車場所 : 池尻池駐車場(飯盛川沿いの散策路を歩いて広場へ)
新所沢変電所東側道路(飯盛川寄りの側道から広場へ)

☆ 総括責任者 : 高橋

ガサガサ担当 : 小沼

森の宝探し担当 : 高橋

ハンモック・ブランコ担当 : 牛島

アート作品担当 : 高橋、吉井

バンブーパン・フランクフルト担当 : 松井

竹筒ゼリー担当 : 高橋

渉外・広報・撮影担当 : 吉井、小澤

チラシ・ポスター担当 : 吉井、高橋

指導員 : 伊藤氏、おやこ劇場(1人)、カローレ(1人)

※ 各担当は当日の会員参加状況により臨機応変に割り振ります。

現在、高倉市民の森内の飯盛川にホタルが乱舞しています。今年は例年より多く出ており、見頃です。まだの方は是非見に来て下さい。

行き方・場所 : 池尻池駐車場から道路を渡り、飯盛川に沿って行き、飯盛川の橋のあたりから上流の橋まで出ています。

見頃時間 : 20時前後

ホタルは、昔、どこでも見られた夏の風物詩でしたが、ホタルの生育環境が近年、河川の農薬などによる汚染、水辺の喪失等により激変したことからなかなか見ることができない貴重な生物となっています。

各地のほたる祭りでは多くの人々が訪れ、自然の素晴らしさ、神秘さ、美しさを感じることができ、どこでも盛況な状況です。ホタルが生育できる場所はその地域の環境バロメータともなっています。

鶴ヶ島市は武蔵野の雑木林・里山がまだ残っている地域であり、市内でホタル自生地を維持・管理できれば、鶴ヶ島市の自然環境の良さをアピールでき、特に子供たちにとって故郷の誇りになるものであるといえます。

1. 飯盛川にホタルが出てきた経過

- (1) 平成 16 年より飯盛川の清掃活動を継続して実施しています。今年の 5 月で「飯盛川清流復活大作戦」は 24 回目になる。
- (2) 平成 19 年にホタルの餌となるカワニナが飯盛川で生息してきたことが分かりました。そこで平成 19 年、夏至のキャンドルナイトを高倉の森で開催した際、源氏ホタルの成虫 100 匹を放虫しましたが、翌年、ホタルは出ず定着しませんでした。
- (3) 平成 20 年、今度は平家ホタル成虫 100 匹の放虫と幼虫 100 匹の放流をしましたが、源氏ホタルと同様翌年には出ず定着しませんでした。
- (4) ホタルが出ている有名などころでは幼虫を飼育し、放虫しているところもあり、自然のままでの定着はかなり難しいことがわかり、飯盛川での生育は無理であると思われ、断念することとしました。
- (5) 平成 22 年夏、夜、森にカブトムシを取りに来た子供たちによりホタルが出ているとの報告があり、調べたところ源氏ホタルであることが分かりました。2 年間のブランクがあったものの出てきた自然界の不思議さに驚くとともに感動しました。
- (6) 平成 23 年より年によりホタル数の変動はありますが、毎年出ているので高倉の森での源氏ホタルは定着しているといえるでしょう。

2. ホタル自生地場所の条件

- (1) ホタルは幼虫から成虫になるために川から這い出て土の中でサナギになるが、コンクリート護岸では土に入れない。
- (2) 街灯やネオン等の人工光があると活動できない。暗闇場所が必要である。

高倉市民の森内の飯盛川は上記条件に合っているため生育できるが、町中を流れる飯盛川では条件に合わず生育できない。

3. ホタル見学での留意点

高倉市民の森内の飯盛川流域は暗闇場所ですが、ライトのつけっぱなしやフラッシュ撮影は生育環境を壊すため控えるようお願いします。